



野里近くの中堀



ここを右に曲がると
野里商店街



日曜・休日を除く
7.30 - 8.30







商店街を南から北に歩くと
左に見えてくる商店街



山崎 文力 八ッ橋
山崎 文力 八ッ橋

山崎 文力 八ッ橋

Blue cloth hanging on a utility pole.











内科・消化器内科

〒151-8510

岩鷄専門













お夏清十郎の墓のある慶雲寺

◎慶雲寺

臨濟宗妙心寺派

◎由緒

もと天台宗寺院であったが、後に禪宗となったと伝えられている。慶長年間（一五九六―一六一五）姫路城主池田輝政の帰依を受け、姫路城築城の余材を以て本堂が建立され、寺域が決定された。輝政より寺領・鎮守領として「六十六石余」が黒印地として寄進された。その後徳川家光より同石高の御朱印地が寺領として寄進され、明治時代に至るまでその寺領は徳川幕府によって安堵されていた。観音堂本尊・如意輪観音座像は、輝政の継室・督姫（家康の次女）の念持仏と伝えられている。境内には、末寺・久昌庵にあったお夏清十郎の塚（比翼塚）が昭和二十六年に移設されている。

≡慶雲寺所有指定文化財

○絹本着色宗夢童子像（昭和四十八年四月六日指定）

桃山時代 縦九一・九㎝ 横三四・六㎝
あどけない童子の面持ちでわずかに右方を向き、武家の正装姿（片衣・袴・腰に大小の刀）で端座し右手に扇子、左手に一枝の菊花を持ち、童子の特徴を余すところなく表した肖像画である。上部に「早離父母家 惜不保年華 抛菊一枝露 明為薄命花 咲 贊 宗夢童子 肖像 南化道人書」とあり、菊花の露の如く儂くも早世した童子の薄命を悼んだ父母が、妙心寺五十七世南化玄興（一五三八―一六〇四）にその贊を求め、童子との余りに早い別れをおしんだことがわかる。

桃山時代の肖像画の作風を留めたこの作品は、描写着彩において繊細な技巧がみられる。おそらく慶長九年（一六〇四）頃までに制作されたものと推定される。像主については、片衣（袖）に描かれた五七の桐家紋から姫路城主・木下家定の孫にあたる童子の画像であろうと推察されている。桃山時代の肖像画の中でも秀逸の作品である。

○紙本墨画「大応・大燈・関山」像 三幅

（昭和六十一年十月六日指定）江戸時代（各）縦一三二・一五㎝ 横五九㎝

江戸時代の禪宗三名僧（盤珪・道元・白隠）の一人と呼ばれ「薄墨の書画」で知られた白隠慧鶴（一六八五―一七六八）が、自らの法脈・臨濟宗の祖・大応国師・大徳寺開山・大燈国師・妙心寺開山・関山慧玄を描き、贊を記した三幅対画像である。一般には「白隠の作品」と呼ばれている臨濟宗三祖師の頂相（肖像画）作品である。白隠の作品としては珍しく、款記名もあり、その制作年を知ることができ、明和二年（一七六五）白隠が八十一歳の年に、今の姫路市船津町上野の常念山地福寺の中興開山として招かれたときに描いたことがわかる。

白隠独特といわれる薄墨の画風・書風は、八十歳になって大成したと言われている。この作品はその特徴を遺憾なく發揮した数少ない白隠最晩年の作品といえる。


平成十一年十一月
姫路市教育委員会

KEIUNJI

This temple was used to worship the *Tendai* Sect, and later changed to the Zen Sect. *Terumasa Ikeda*, who was very religious, had the main hall of the temple built. It was built with the same lumber used for *Himegi Castel*.

The temple holds the tombs of *Onatsu* and *Seijuro*, and it also has two famous pictures. "*Kenponchakusyokusoumujizo*" and *Shihonbokuga Daio·Daito·Kanzan' zo*", which are listed as an important cultural property of Himeji.

野里

「お寺de」
カサト
県立  姫路東高校







○ 無拾清浄光慧日長壽願 乙卯

十郎 夏清

賽 錢

お夏清十郎の墓